

車が大好きな大ちゃん通信 10号

(久々に会った友人に、太ったんじゃないと言われたら、やっぱり増えてたので、頑張ってたので、頑張って減らそうと、パーソナルトレーニングも再開しました。(泣))

自己紹介

近藤 大 (こんどうだい) と申します。1971年式で54歳です。下の名前の大ちゃんと読んでください。

あたたかくなってきて、なんとなく気分も弾みますが、花粉も飛んでるみたいですね。皆さんは花粉症いかがでしょうか。最近花粉をちょっとずつ摂取して、根本治療する方法もあるみたいです。今月も大ちゃん通信スタートです。



りくりゅうペア

東京オリンピックの腐敗ぶりを見てオリンピックなどもう見んと思った私ですが、今回はちょいちょい見ちゃいましたね。特に盤石の絶対王者りくりゅうペアは団体戦から好調そうでしたので、金メダル確実。ここ2年間の成績見れば、坂本花織選手が金メダルとる確率より相当上だったでしょう。

オリンピックには魔物がいるそうですが、この二人も例外ではなかった。失敗するのを見たことないという、リフトでミス。SPで5位に沈む。木原選手はフリーまで泣き続けて、それを三浦選手がお姉さん役になって(実際は9歳下)慰めていたというから、頼もしい。ペアを組んだ当時はまだ18歳で家に帰りたいと泣き「豆腐メンタル」と呼ばれてそうで、木原さんも成長が頼もしかったでしょう。アニメ声解説

高橋さんの「宇宙一」も全く異論をはさむ余地なし。すごい演技を見せていただきました。しかしあの二人フライベートではどういう関係なんでしょうね。

ご想像にお任せします (邪推)



童夢

車を売らなくても儲かった話。1978年、突如、日本初のスーパーカーが登場します。その名は童夢-零 (ドームゼロ) ショーに登場したプロトタイプはそのスタイリングで大変な話題となりました。設計者は林みのる氏。レーシングカーの設計者ですが、当時日本の技術者がその総力を結集して作り、車高はわずか980mm、日産製のL28直列6気筒をミッドシップに搭載。最高速度は200km/h以上と言われました。ジャッキーチェン、レジージャクソン、フルネイ王室などからオーダーをもらったそうです。(笑)

しかし市販化は困難を極めます。当時の運輸省が、型式認定を出す気があるのかというくらい厳しい。そんならいいぞ外圧でとアメリカで型式認定を取ってとまで考えたのですが本業のレーシングカーの設計で忙しくなり、市販化されず。でも、この車をモデルとしたフラモデル、ミニカー、消しゴムなど、そのライセンス料で10億円!の利益をもたらしたそうです。めでたしめでたし。



世界一車高が低い車を目指しました。

車が大好きな大ちゃん通信 ご縁があった方に(約)月一回お届けしています。

発行責任者: 株式会社リアテクス 近藤大 電話番号: 03-6822-7297

携帯: 070-8358-3108 メールアドレス: dai.kondo@reatex.co.jp

送付不要な方はもう結構ですよとお気軽にどうぞ。バックナンバーはこちらから→

